

自然災害に強い 安全なまちづくりについて



質問者
古谷 星工人 議員

近年、地球温暖化の影響で台風の巨大化、ゲリラ豪雨によって全国で自然災害が発生しており、台風19号は降雨量が多く虫沢川左岸では堤防を乗り越え農地（水田）に流入しました。その下流には寄筒水の水源もありライフラインに影響することも考えられます。次のことについてお尋ねします。



町道寄11号線

(1) 10月12日の台風19号の被害状況について

特に民地への被害状況を中心に状況別の件数
(2) 寄地区の道路、水道などのライフラインの確保（孤立）について

町道寄11号線と接する山北町、土佐原林道と接する秦野市との災害時の連携状況

山北町、秦野市と連携強化を図る

回答（町長）



ここ数年来、地球温暖化の影響が、全国各地でかつてなかった程の自然災害が頻発しています。幸いにもこの足柄平野では大きな被害は発生していませんが、そこに油断



質問者
中野 博 議員

災害の想定外は想定内

(1) 寄地区の民地関係の被害は家屋、敷地内への土砂流入が16件、農地への土砂流入が多数、県道、町道、農道等土砂崩落等48件でありました。過去に虫沢川の左岸の河床整備をして頂きました。今回、越水もありましたので県と整備について協議をさせていただきます。

(2) 隣接する山北町とは、災害時における相互援助、秦野市とは、応急対策等

に関する協定を締結しており、連携強化を図って参ります。
台風19号では寄地区が一時的に孤立した状況となり、長時間になった場合を想定し、災害物資の備蓄、電気、水道などのインフラ対策についても強化する必要が高まりましたので、今回の災害を教訓として、住民の生命財産を守るための対策を順次整えてまいります。

が生じてはなりません。今こそ町民の生命、財産を守るべく本腰を入れた対策を講じるべきと思いますが町長のお考えをお示ください。

防災対策は最重要課題

回答（町長）



町民の生命、財産を守る事は行政の最重要課題と考えている。今後、増々超大型化になって日本列島に甚大な被害をもたらすと思われる台風に備え、避難所や、



川音川河川整備の案内看板

ハードマップの見直しと共に、自らの生命、財産を守る為の町民への意識、啓蒙を図って行く。
松田町には2本の大きな川が流れているが、特に氾濫、決壊の恐れのある川音川については、県に強く要望し、河川整備を推し進めて行く。早速、東名高速道路より上流に對しての工事に着手する。また、防災に對しての高度の専門的な知識、経験を有する職員を採用する。